



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第 **111** 号
令和 8 年 10 月 21 日



定例会毎に発行

河津町議会だより



令和 8 年河津町子ども議会より

- P. 2～P. 4 決算審査特別委員会
- P. 5 定例会・臨時会
- P. 6～P. 7 委員会調査報告書
- P. 8～P.11 町政を問う
 - ▶一般質問（4人）

- P.12 伊豆縦貫道建設促進要望活動
- P.13 委員会・議会のうごき
- P.14 一部事務組合
- P.16 私の一言

- ▶令和 8 年河津町子ども議会議長 長谷川 伊織
- ▶令和 8 年河津町子ども議会議員 土屋 実緒



YouTube で
議会映像配信中



河津町議会
WEBサイト

決算審査特別委員会：議会が行政の決算をチェック

令和7年度一般会計歳出決算額
46億1,467万円

令和7年度決算

認定

全議員で構成する「決算審査特別委員会」により、9月2日から6日間にわたり、令和7年度の事業や成果・決算について精査・確認し、特別委員会からの意見を付して認定した。

—— 決算審査特別委員会・メンバー構成 ——

委員長 桑原 猛 副委員長 北島正男

委員 福沢宏幸、正木誠司、渡邊昌昭、遠藤嘉規、上村和正、渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

令和7年度の主要な施策・成果

●非課税世帯・低所得世帯に対する支援

物価高騰対策生活支援給付金 2,582万円

●定額減税で減税しきれない納税者への支援

定額減税補足調整給付金 2,209万円

●子育て世帯に対する支援

物価高対応子育て応援手当給付金 1,258万円



●地区集会施設修繕事業補助金 3,298万円

老朽化が進んでいる各地
区の公民館や集会施設の
修繕費に対する補助



●エネルギーや食料品の物価高騰に対する プレミアム商品券・工事券の発行

商品券 2,609万円
工事券 875万円



●老朽化橋梁の補修工事

中田橋（逆川）
1,877万円
中村橋（逆川）
800万円



改修を終えた中田橋

●町道の補修・整備費用

傷んで危険な町道
の補修や、消えか
かった白線を直し
ています

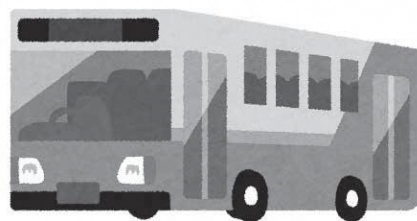
3,244万円



町道田中見高線

●町内で運行している各種交通手段の費用

・自主運行バス補助金	3,015万円
・高齢者等おでかけ支援タクシー（実証実験）	256万円
・町営バス運行業務委託	551万円
・町バス運行業務委託	334万円
・スクールバス運行業務委託	1,574万円



●河津バガテル公園管理費

4,921万円



●防災力向上・維持管理 消防第1分団のポンプ車更新

2,992万円



●1年間でこれだけ掛かってます。

（東河環境センター負担金）

ゴミ処理費
1億7,152万円

（河津町負担率：35.7%）

し尿処理費
3,769万円
（河津町負担率：42.8%）



焼却灰等処理費委託料

1,331万円

ゴミ収集委託料

5,008万円

指定ゴミ袋製造委託料

382万円

●同報無線デジタル化 整備工事

（令和7年度工事分）

1億6,383万円

令和5～7年度の
3か年で整備完了



●農作物の被害軽減のため

有害鳥獣害

対策費

377万円



●小中学校ネットワーク 環境改善工事

1,462万円



●保護者の負担軽減のため

高校生の電車通学補助

伊豆急行線定期
の1/2相当額を
補助

補助金総額

447万円



学校給食費補助

1,463万円



18歳以下のこどもの
医療費を全額補助

医療費扶助費

2,244万円



行政事務包括業務委託 1億4,078万円

委託事業者：㈱共立ソリューションズ

- ・マイクロバス、町営バス、町バスの車両管理と運行
- ・学校給食センター管理運営と配達
- ・文化の家図書館管理運営
- ・放課後児童クラブ管理運営
- ・踊り子温泉会館管理運営
- ・回覧板の配達
- ・不法投棄監視と回収
- ・介護保険事業支援
- ・花卉園管理運営



☆一般会計の歳入・歳出について

町税の内訳

・町民税	3億0,649万円
・固定資産税	5億6,657万円
・軽自動車税	2,863万円
・町たばこ税	5,787万円
・入湯税	2,272万円
合計	9億8,228万円

町税以外の歳入

- ・地方譲与税
- ・法人事業税交付金
- ・地方交付税
- ・地方消費税交付金
- ・国庫支出金
- ・県支出金
- ・その他各種交付金、分担金、負担金など

一般会計歳入合計 49億7,116万円

一般会計歳出合計 46億1,467万円

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」による4つの健全化判断比率を見ると、河津町は健全な財政運営がされている自治体であると判断できる。

●さくら振興費

河津桜を守るための費用

666万円



●全国から頂きました。

ふるさと納税寄附金 1億4,154万円
企業版ふるさと納税寄附金 910万円

●河津町特別会計歳出決算額（抜粋）

- ・河津町国民健康保険特別会計
9億0,508万円
- ・河津町介護保険特別会計
9億4,461万円
- ・河津町後期高齢者医療特別会計
1億4,478万円

特別会計とは？

国や地方公共団体において、特定の事業や資金の運用状況を明確にするために一般会計とは別に設けられた会計

「町民のみなさんが収めた保険料と国や県からの負担金で運営されています。」

令和7年度 決算審査特別委員会 付帯意見

- 1, 投資的経費を積極的に確保し、地域経済の活性化を図られたい。
- 2, 河津正月桜の積極的な保護育成に取り組み、河津桜と共に観光振興を図られたい。

令和8年 第3回 定例会（抜粋）

9月1日から10日までの10日間の日程で開催され、議長より諸般の報告、町長の行政報告、議員の一般質問4名に続き、報告事項2件、人事案件2件、条例案件7件、補正予算6件、単行議決1件、決算認定8件の全26議案の審議を行い、可決・同意・認定した。

なお、会計ごとの決算認定は、議員全員による「決算審査特別委員会」に付託し、付帯意見を付して 認定した。

議案（抜粋）

- 令和7年度決算に基づく健全化判断比率の報告
河津町の財政健全化判断比率に関し、健全財政と報告を受けた。
- 令和8年度一般会計補正予算
（主な補正内容）
 - ・ 生産資材等価格高騰対策として、農業者への資材購入補助
700万円
 - ・ オーバーツーリズム環境整備促進事業（観光庁補助金採択事業）
4,081万1千円

・ 修繕料（バガテル公園看板撤去費） 200万円

・ 交通安全施設工事（地区要望） 221万3千円

・ 普通財産の貸付

旧東小学校の校舎・体育館・グラウンド・プールを（有）レップジャパンに無償で貸付ける。

（理由）地域活性化に資する計画であると共に町が負担している施設存続にかかる経費の節減に寄与するものと認められるため。

※（有）レップジャパンは、河津町で「Zoo（イズー）」、「KawaZoo（カワズー）」を、東伊豆町で「アニマルキーパーズカレッジ（動物園予備校）」などを展開している会社。河津町と観光振興や災害対策などで連携協定を結んでいる。

町長の行政報告

・ 旧東小学校の利活用

民間企業2社より応募があり、プロポーザル選定委員会の審査を経て、（有）レップジャパンが優先交渉権者となった。

東伊豆町のアニマルキーパーズカレッジの分校として、飼育員等の養成を図る施設や、伊豆地域で有害駆除された獣や狩猟期に適法捕獲された野生動物の食肉加工所機能を併せ持つ施設運営を実施する計画。貸付条件に災害時等の避難場所としての利用など、地区住民と協働・共創の地域づくりを目指す。

・ バガテル公園管理事業

令和8年4月から町直営による無料の公園として開放していたが、9月30日をもって閉園する。今後は施設の維持管理を行いつつ、オランジェリー等を予約制で貸し出す。

第2回 臨時会

7月21日 開催

● 専決処分の承認（令和8年度一般会計補正予算）

見高地区防災対策工事
2,000万円

● 工事請負契約

改修工事
5,926万8千円



コート2面と照明の改修工事

● 令和8年度一般会計補正予算

第2のふるさとづくりプロジェクト、地域周遊観光促進業務委託、台風6号による道路施設修繕などで追加
2,760万9千円

委員会調査報告書（抜粋）

河津町議会会議規則第77条に基づき、今定例会において各常任委員会及び議会改革特別委員会の委員長より議長へ調査報告を行った。

※河津町議会会議規則第77条「委員会は、事件の審査又は調査を終わったときは、報告書を作り、議長に提出しなければならない。」

第1常任委員会

1. 調査事件

移動支援交通手段

「ライドシェア」

2. 調査の結果

（1）課題抽出

調査当時、河津町ではタクシートの営業が17時に終了するなど、夕刻以降の二次交通が著しく不足している状況にあった。

このため、町民の日常生活には不便が生じ、観光客・来訪者には飲食や買い物、見物の移動が困難となり、「おもてなし」が十分であるとは言い難い。これらの状況は、町の経済循環にも大きく影響し、町の活性化を阻害する一因となっている。

（2）課題解決

民間交通事業者に頼らない町独自の移動交通手段の構築を図るため、共助版ライドシェア（河津ザクラライド）を商工会観光サービス業部会と観光

協会と協働し、実証実験を3回行った。



（3）結果 17時30分～22時30分の5時間の稼働で、イベント時1日7～11回の利用があり、いずれも町民・観光客・来訪者から一定のニーズがあることが分かった。また、利用者と町商業者から高評価を頂き、乗車客アンケートの上位は、「通年で実施してほしい」であった。

これらの事を、提言書にまとめ、議会の総意として、町に対して提言した。

第2常任委員会

1. 調査事件

防災減災のため、今後取り組むべき課題

2. 調査の結果

（1）課題抽出

防災減災に知見のある町民で構成される消防団本部、防災士会、災害ボランティアコーディネーター連絡会と共に、町内の防災課題の洗い出しを行った。

（2）結果

①「トイレなどの衛生環境の改善」

被災時のトイレ不足や衛生状態は、避難者の尊厳と心身の健康を直接的に脅かす人道的な課題である。各家庭での簡易トイレの備蓄推進や避難所の仮設トイレ設置の防災協定など推進されたい。

②「プライバシーの確保」

段ボール製パーティションなどを活用して、家族単位や個人が、最低限のプライバシー空間を

確保できるよう、平時から準備計画されたい。

③「迅速な情報共有」

住民個人に直接届くような、デジタルとアナログ手法を組み合わせた多層的な情報伝達ネットワークの構築と、その利用方法の周知が急務である。

④「災害ボランティア調整役の確立」

災害時に集まるボランティアの力を最大限に活かすため、行政、社会福祉協議会、自主防災組織、コーディネーターとの実働的な連携体制を構築されたい。

⑤「伊豆縦貫自動車道天城峠区間の早期開通」

伊豆縦貫自動車道の早期開通を促すため、町民の声を直接届けるべく河津町独自の要望活動を強化されたい。

これらを戦略的な柱として町に対して提言した。

広報常任委員会

1. 調査事件

議会広報の活動

2. 調査の結果

(1) 議会広報紙の発行

第96号～110号発行については事前に編集・入稿・校正・校了をそれぞれ実施

(2) 河津中学校3年生に対するアンケートを実施

3年間、中学3年生に町政についてアンケートを実施し町政に関心を持っていたかどうかにした。結果は議会広報紙にて発表した。

(3) 河津寄って軽トラ市に参加

第46回、第48回、第50回「河津寄って軽トラ市」に議員全員で参加してアンケートを実施した。結果は議会広報紙にて発表した。



(4) 意見交換会、懇談会の実施

- ・来訪中の大学生
- ・子育て世代
- ・民間広報協力員

とそれぞれ意見交換会、懇談会を実施した。

(5) 町村議会広報紙全国コンクールへ応募

「議会だより」を町村議会広報紙全国コンクールへ応募した。

(6) 町村議会広報研修会へ参加

町民の皆さんにわかりやすい広報紙作成のため町村議会広報研修会に委員全員で参加した。

議会改革特別委員会

1. 調査事件

議会活動の改革に関する調査

2. 調査の結果

(1) 議員のなり手不足について

議員のなり手不足問題の議論を重ね、議会活動を町民に理解してもらえるよう発信力の強化に努めた。

①常任委員会の活発化
各常任委員会の報告のとり

②「河津町議会申し合わせ事項」の文書化

議会運営上慣例で行っていた事項、また会議規則で不明確であった語句の解釈を、「河津町議会申し合わせ事項」として文書化し、今後の議員活動を理解しやすいものとした。

③議員活動の発信

町民との意見交換会の開催、町議会として河津寄って軽トラ市の出店等イベントへの参加、議会PR動画の公開などにより、議員活動を広く町民に発信した。

(2) DX推進について

議場又は委員会室等へのデジタル機器の持ち込みを可能とし、調査、記録方法に幅を持たせた。本会議の一般質問においては、質問内容の補足として電子モニターを活用し充実を図った。



総 括

議員のなり手不足は、全国の地方議会において重要な課題となっています。当議会においても、この問題について継続的に議論を重ねるとともに、議会活動への理解と関心を深めていただくため、町民への情報発信の強化に努めました。今後も、議会に対する理解と関心を高め、将来の議員のなり手不足解消につながるよう、開かれた議会づくりと活発な委員会活動に努め、積極的な情報発信を行ってまいります。

町政を問う

一般質問

発達障害の可能性がある児童生徒

小学生	10.4%
中学生	5.6%
高校生	2.2%

(出所) 2022年の文部科学省調査

発達障害児に対する、校内通級指導など支援策が待たれる

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます

きた じま まさ お 北島正男 議員

質問 発達障害児の現状把握と対応は

答え 支援員の配置などで対応している

質問 全国的に増えつつある発達障害児の当町での現状把握と対応策は。**町長** 学校等を訪問し、困難を抱え、支援が必要

な子どもたちがいることを把握した。今年度は10人の支援員を配置した。

教育長 支援が必要な子どもの正確な数の定義・把握は困難。就学支援委

員会で適切な支援策を協議し、発達の種類や特性に

に合った支援を講じ、子どもや家庭に寄り添うことを基本に対応している。

健康増進課長 言葉や癖などの発達の心配事は公

認心理士等が相談を受け、昨年度10人が利用。発達を促す教室は、昨年度14回開催し延べ69人が利用。

質問 発達障害児への今後の向き合い方で支援拠点や通級指導の可能性は。**町長** 支援拠点や通所も必要かと思うが、現在の支援体制で早期対応と支援をしていきたい。**教育長** 通所の設置は一定の基準があり難しいが、特別支援学級で一对一の支援をすることも可能。

質問 かわづっこひろば等の活用実績は

答え 多くの人にご利用頂いている

質問 「かわづっこひろば」の支援策は、多種多

様で良い運営をしているが、利用者の反応や利用率また、一時預かりの利用状況は。

町長 開所以来、多くの人が利用。引き続き魅力ある施設を目指す。**福祉介護課長** 当初7、000人の利用を想定し

たが、昨年は9、086人が利用。一時預かりは

昨年31人で需要を満たしていると思うが、広報を行っていく。

質問 親の育児休暇取得に伴い放課後児童クラブ

を退所となるケースが全国で6割弱あり、問題視されている。当町の場合はどのような対応か。

福祉介護課 放課後児童クラブの入所について

は、当該児童の面倒をみることに出来ない」と認められる場合とされている。原則育児休暇中の利用はできないが、家庭での養育が困難である場合などは相談して欲しい。

町政を問う

一般質問



福祉避難所に位置付けされている『サンシニア河津』



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



ふく ざわ ひろ ゆき 議員
福 沢 宏 幸

質問 地域資源としての空き家活用戦略は

答え 調査結果を実際の活用に繋げていく事が重要

質問 空き家等実態調査の結果を活用に繋げる仕組みは。

町長 所有者の意向が最も重要となる為難しい面があるが、調査結果も参考にし、売買等に繋がるよう支援を継続していく。

建設課長 水道温泉課保有の給水データから、水道が使用されていない状況

態かつ、住宅地図上に建物がある物等を対象として267件を調査。空き家の可能性が高い建物は157件。内、老朽度の高い建物が46件、物理的に利活用できそうな建物は111件。

企画調整課長 昨年度中の空き家バンク登録は9件、売買・賃貸は5件。

質問 住宅以外も含めた地域課題解決型の空き家活用は。

町長 ニーズがあるか不明なので、現時点で検討する予定はない。

質問 空き家を移住・関係人口・仕事・観光に繋げる仕組みは。

町長 各種法令等に注意しつつ考えていきたい。

質問 高齢者等の避難支援体制について

答え 各自主防災会にデジタル無線を配備

質問 個別避難計画の実効性確保は。

防災課長 避難行動要支援者（要介護認定者や障害者、後期高齢者等の特に支援を必要とする方）名簿を作成・管理している。この中で同意を得られた方について個別避難計画を作成しており、民生委員や各地区自主防災

会とも共有し、災害等の非常時に備えている。

質問 福祉避難所の受入れ体制は。

町長 町内1か所の社会福祉施設と協定を結んでいる。発災直後の避難受け入れは難しく、施設の被害・入所者・職員等の状況を勘案し、開設する。

質問 孤立想定地域にお

ける高齢者等の安否確認体制は。

町長 町内では4か所の孤立想定地区が予想されているが、移動系デジタル無線を配備し、通信手段は確保している。

防災課長 各地区自主防災会に集約された情報が重要。今後も情報伝達の保全に努めていく。

町政を問う

一般質問



移転が必要な河津分署



わた なべ まさ あき 議員
渡 邊 昌 昭

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問 消防河津分署の移転候補地は

答え 本部の場所が決まり次第速やかに

質問 消防河津分署は43

年が経過し、老朽化が進み、河津川浸水想定地域

にあり早急に移転が必要

である。協議書では候補

地が所在する市町が、土

地を提供することとなっ

ている。これまで防災公

園が候補地であったが、

別の場所を検討すること

となった。計画では令和

10年度に完成すること

なっているが、候補地の

検討は進んでいるのか。

町長 就任当時、最重要

課題の一つとして、検討

するよう指示をした。下

田市で消防本部移転場所

を検討中であり、同時に

はできないとのこと。本

年度中に示される方向性

により候補地を検討。

防災課長

タイムスケ

ジュールについては、現

在候補地を選定中であ

り、現段階では示すこ

ができない。

質問 建設候補地はどの

ような場所を考え、本部

と調整しているのか。

町長 下田市の検討委員

会の回答を受け、速やか

に選定していきたい。

質問 特産品のブランディングは

答え 新たな商品開発にチャレンジする

質問 『河津寄って軽トラ市』に「出張！河津町

議会」として出店し、特

産物についてのアンケー

トを行い、多くの特産物

があがった。これらを組

み合わせてブランディン

グできないか。

町長 町はブランディン

グへの支援となるような

施策に取り組んでいる。

質問 特産物を使ったお

菓子などができないか。

また菓子や料理もレシピ

を店や宿泊施設に提供し

て、名産品ができないか。

町長 当町でもワサビ丼

のようにテレビ番組が

きっかけとなって他の店

でも提供されているメ

ニューもすでにある。町

で主導するよりも飲食店

組合や商工会のような組

織が進めていくほうがい

いのではないかと思う。

服部学園に開発依頼し

た商品を販売継続性や品

質を考慮し、株式会社あ

おきと協議を進めてい

る。産官学で協力し、新

たな土産になるよう商品

開発にチャレンジしてい

きたい。

町政を問う

一般質問



町内の河津正月桜



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



えん どう よし のり 議員
遠藤嘉規

質問 河津正月桜の存在価値は

答え 町の貴重な財産の一つ

質問 河津正月桜は一体

どのような位置づけなのか。存在価値をどのように考えているのか。

の一つとして考えている。

質問 河津桜維持管理助

成金交付要綱では、河津正月桜は対象外となるが。

町長 河津正月桜を地域

の財産として保護育成するため、所有者の方と協議し、品種登録をした。

町長 河津桜維持管理助

成金交付要綱は、河津桜の状況を踏まえての要綱であり、河津正月桜とは位置づけも違う。河津正月桜は品種登録された桜であり、生産、保管、譲

質問 プッシュ型支援の配送どう考える

答え 地域の共助が重要と感じる

質問 災害発生時の国プ

ッシュ型支援の物資は町内のどこまで届けられるのか。高齢者、独居世帯、要支援者等、避難所まで取りに行けない方に必要な物資を届ける仕組みを、事前に検討しておく必要があるのではないか。

至っていない。役場庁舎

やB&G体育館など町有施設を基本に、場合により民間施設も配送拠点になりうると思定している。

各地区避難所への配送は町職員、協定業者、各地区自主防災会の協力など、状況に応じて考える。

質問 保管場所や搬送を

担う民間の協力者を事前に決め、必要な人に必要な支援を届ける仕組みを平時から構築しては。

渡等をするには町の許諾が必要のため、この要綱に定めるものではない。

質問 河津正月桜も河津桜と同様に保護育成の対象に含めてはどうか。要綱を改定する考えは。

町長 河津正月桜は品種登録を町がしている桜なので、要綱を改正する必要はないと考えている。

に決め、必要な人に必要な支援を届ける仕組みを平時から構築しては。

町長 民間事業者との協力について、協定などを確認しながら、もう一度検討していきたい。

防災課長 地区内の役割分担は、被災状況や対応状況を踏まえ、総合的に判断していく。

伊豆縦貫自動車道建設促進要望活動

●河津町単独による要望
活動実施の経緯

伊豆縦貫自動車道は順次事業化が進み、現在、天城峠道路の茅野から河津七滝までの区間の早期開通が求められている。

一日でも早い伊豆縦貫自動車道開通を目指し、最大の難所である天城越えを擁する自治体・河津町として町民の思いを届けるため、昨年に引き続き町単独での要望活動について第2常任委員会を主体に検討した。

町全体での要望活動として商工会・観光協会・議会といった昨年の構成団体に加え、建設業代表も参加し、より一体となった要望活動を実施した。

●国土交通省中部地方整備局への要望活動

6月23日
議長及び第2常任委員
5名で名古屋市へ

要望先

国土交通省中部地方整備局 道路部
道路部長 望月拓郎
道路調査官 高見泰彦
「事業は進み続けており、今後も工事前の地質調査など事前のステップを踏みながら、しっかりと進めていく」とのコメントをいただいた。

●国土交通省への要望活動

7月3日
要望活動参加者
河津町商工会

会長 土屋典之
女性部長 植松智子

河津町観光協会
会長 関 圭宏
副会長 堤賢太郎

河津町建設業代表
土屋順一

河津町議会
議員10名

協力頂いた国会議員
衆議院議員 勝俣孝明
参議院議員 若林洋平

要望先
国土交通省

副大臣 佐々木紀
技監 廣瀬昌由
道路局長 沓掛敏夫
高速道路課長 渡邊良一



限られた時間の中で、勝俣議員の進行のもと、議長からの説明に続き、商工会、同女性部、観光協会、建設業代表から地域の熱い思いを伝えた。

佐々木国土交通省副大臣から「半島における道路は重要であり、有事の際の孤立を防ぐ為、強靱な道路を作っていく事は大事。自治体や議会が来る事はあるが、民間の方が来ることは少ない。地域の総意と受け止める。」とのコメントをいただいた。



河津町議会は今後も伊豆縦貫自動車道の早期開通に向けた活動を続けてまいります。

第1常任委員会

6月4日

●商工会観光サービス業部会、観光協会と協働した「河津ザクライド」の実証実験データを基に、委員会調査報告書を作成。

7月17日

●委員会調査報告書をより具体的にまとめた提言書を作成。

8月10日

●第1回河津町表彰審査委員会に委員長が出席。

9月10日

●定例会終了後、議長・副議長と共に町長へ提言書を提出し、町の活性化に寄与する「新たな移動支援交通システム」の構築は急務であると伝えた。

第2常任委員会

6月11日

●第1回河津町学校給食運営審議会に委員長及び副委員長が出席。

6月23日

●伊豆縦貫自動車道建設促進要望活動を国土交通省中部地方整備局で実施。

7月13日

●委員会調査報告書及び提言書について協議。

7月16日

●第1回河津町青少年問題協議会に委員長が出席。



町長へ提言書を提出

7月21日

●委員会調査報告書及び防災強化にかかる提言書について協議。

9月10日

●定例会終了後、議長・副議長と共に町長へ提言書を提出し、防災減災のため、今後取り組むべき課題を伝えた。

広報常任委員会

6月19日、29日、7月7日

●議会だよりの作成。

7月15日

●議会だより第110号を発行。(特集・軽トラ市・中学生アンケート)

8月27日

●次号の議会だより作成について協議。

議会改革特別委員会

7月17日

●議会改革に関する事項について協議。

議会のひしき



渡邊 弘 議長

- ・議会議長会の事業2件
- ・出納検査報告 3件
- ・議長に要請のあった諸会合など 8件

- ◇その他の活動(抜粋)
- ・第1、第2常任委員長の出席会議 4件
 - ・一部事務組合 7件

7月3日

6月の台風で被害を受けた見高地区の災害箇所 の早期復旧要望を総務省にて実施。

河津町の観光PRのため、高市事務所を表敬訪問し、特産品のわさびと小説「伊豆の踊子」100周年記念品を贈呈。

*伊豆縦貫自動車道建設促進要望活動に合わせ て実施。



一部事務組合

伊豆斎場組合

●定例会 8月21日

令和7年度決算

総支出額

5,004万8千円

加入団体負担金

3,546万7千円

河津町 600万6千円

下田市

1,405万5千円

東伊豆町 878万2千円

南伊豆町 662万4千円

令和7年度火葬件数

管内合計 921件

河津町 133件

下田市 404件

東伊豆町 210件

南伊豆町 174件

*参考

令和6年度火葬件数

1,099件

令和7年度は前年度比較で178件の減となった。

下田メディカルセンター

●定例会 8月20日

・令和7年度決算は、入院、通院ともに患者数の減で収益は減少したが、旧共立湊病院の解体終了で特別損失が無く、また修繕費や、病床の削減などにより黒字化した。

●将来構想調査特別委員会

地域医療の現状と将来について課題把握のための講義をお願いし受講した。

・第5回 6月30日

松崎・西伊豆地区

池田医院 池田正美 院長

西伊豆健育会病院

仲田和正 院長

・第6回 8月20日

下田・河津地区

かわづクリニック

鈴木和重 院長

下田メディカルセンター

木村健吾 課長

下田地区消防組合

●定例会 8月20日

令和7年度決算認定

救急自動車購入契約

2,200万円

ポンプ車購入契約

6,435万円

救急工作車購入契約

1億9,415万円

令和8年度会計補正予算

他2案

審議のうえ可決された。



購入予定の救急工作車

●事業報告

令和8年2月1日～

7月31日

・火災発生状況

建物火災 4件

その他火災 8件

うち河津町では

その他火災1件

・救急業務

出動 1,882件

うち河津町 219件

・ドクターヘリ要請

159件

・通信指令業務

119番受信件数

2,455件

うち誤報、問い合わせ

等が898件となつてい

る。

119番通報は適正な

使用を心掛けていただき

たい。

●視察研修

令和8年7月1日～3日

・視察研修先

和歌山県串本町消防本部

古座消防署

和歌山県那智勝浦町

消防本部

三重県志摩市消防本部

・目的

当本部は津波浸水想定区域に位置し、庁舎移転が喫緊の課題となり、先進事例を調査研究し、見識を深めるため。

・議会提言

用地選定等に関して管理者に提言した。



那智勝浦消防本部にて

議会だより第111号

締め切り
11月末日必着

読者アンケート

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。

各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可）

- | | |
|---|--|
| ☐ P. 2～P. 4 決算審査特別委員会 | ☐ P. 12 伊豆縦貫道建設促進要望活動 |
| ☐ P. 5 定例会・臨時会 | ☐ P. 13 委員会・議会のうごき |
| ☐ P. 6～P. 7 委員会調査報告書 | ☐ P. 14 一部事務組合 |
| ☐ P. 8～P. 11 町政を問う（一般質問） | ☐ P. 16 私の一言・編集後記 |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- ☐ 1. 大変満足 ☐ 2. まあまあ満足 ☐ 3. もう少し ☐ 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名の方に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名の方に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



「みんなの河津町」
令和8年河津町子ども議会議員
土屋 実緒

子ども議会というのは河津小学校、河津中学校の児童・生徒の中でやりたいと思った人が困っていることや、対策してほしいことなどを考え議会で発表します。

今年は10名の児童・生徒が参加をしました。その中には今年で2回目の人や、今年が初めての人もありました。その中で私は今年で2回目の中の一人で、去年の経験を生かしてどうしたら相手に聞き取りやすいかなどを主に意識して頑張りました。

私は、自然豊かな河津町に事故など悲しい事は起きてほしくはありません。そのためちゃんと周りを見ろという心掛けはいいと思います。でも心掛けていても防げない事故はあります。これからも桜が綺麗な河津町を守っていくため頑張っていきます！



「僕達が明るく生活出来る河津へ」
令和8年河津町子ども議会議長
長谷川 伊織

僕は将来の河津町はどうなるかを質問しました。理由はここは人も少ない田舎であるため将来併合されてしまう可能性があるのをそれを解決する事は出来るのか気になったからです。

僕が子ども議会に参加した理由は、ここでも聞けない事もあるからです。町長からは東京の会社の事業所が開設されたことなどが、対策となっていると言われました。僕の考えは、東京の会社の事業所を置いても解決には難しいと考えています。僕の考えは、仕事や住まいの確保、手厚い子育て支援、そして地域を応援してくれる「関係人口」を増やすことが大切だと思います。

今回も子ども議会では様々な事を聞けました。



編集後記

町民の皆様にはわかりやすい議会だよりをお届けするため、広報委員全員で何度も意見を交わし、少しずつですが読みやすくなっていると思っています。(笑)皆様からのアンケートも増え、紙面に反映できたのではないかと感じています。4年間の任期を終え、次号よりメンバーは変わりますが、今後の議会だよりにご期待ください。ありがとうございます。

委員長 渡邊昌昭

広報常任委員会

委員長 渡邊昌昭

副委員長 正木誠司

委員 福沢宏幸

〃 北島正男

〃 桑原 猛

次回定例会は12月開催予定です。